

フロンティア事業助成事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人ワーキングnetにしはりま	代表者名	理事長 小谷 道夫
事業名	家電リサイクル・特産品開発・イベント事業による障害者雇用就労の促進		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
平成 25 年 7 月	<p>【小型家電リサイクル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の取り組み方について協議 <p>【特産品開発・普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋菓子の商品開発のため兵庫栄養調理製菓専門学校と協議開始
平成 25 年 8 月	<p>【小型家電リサイクル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西播磨県民局、高齢・障害・求職者雇用支援機構と協議 ・障害者の職業訓練校「赤穂カレッジ構想」について協議開始 <p>【特産品開発・普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋菓子の商品開発等について、みかしほ学園(日本調理製菓専門学校)と協議
平成 25 年 9 月	<p>【小型家電リサイクル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県環境創造協会から情報収集 <p>【特産品開発・普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立武道館（姫路市）で商品の販売を開始 ・ミカンポン酢商品化のため、赤穂市内のミカン山調査
平成 25 年 10 月	<p>【小型家電リサイクル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西福祉大学で携帯電話の回収実験を実施 <p>【特産品開発・普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路市「官兵衛」、赤穂市「陣たくん」キャラクターの使用許可申請 ・兵庫栄養調理製菓専門学校と洋菓子商品化の最終段階の協議 ・県の関係施設等で商品を販売開始 ・ミカンポン酢の商品化に向けた協議開始
平成 25 年 11 月	<p>【特産品開発・普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はちみつプロジェクトを立ち上げ、新商品の開発・検討開始 ・赤穂市内のミカン山の調査とミカンの買い付け ・ミカンポン酢とドレッシングが完成し、販売開始 ・兵庫栄養調理製菓専門学校の指導を受けて、洋菓子の製作に着手
平成 25 年 12 月	<p>【小型家電リサイクル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西播磨地域の特別支援学校(西播磨、赤穂)の障害者の進路状況調査 ・パナソニックエコテクノロジーセンター(株)(加東市)にリサイクル事業に関する情報収集と業務受託に向けた協議 <p>【イベント参加事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤穂義士祭で商品を販売
平成 26 年 1 月	<p>【特産品開発・普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立武道館レストラン受託協議

平成 26 年 2 月	<p>【小型家電リサイクル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体施設・作業現場等の調査 ・家電リサイクルプロジェクト会議 県農政環境部環境整備課循環型プロジェクトの担当者を招聘し、小型家電リサイクルの現状と今後方向性について講演をいただいた。 ・障害者等の雇用を前提に、自立訓練の導入に向けた準備を開始(7月開始予定) ・業務提供会社の現地調査 <p>【イベント参加事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤穂の牡蠣祭りで商品販売
平成 26 年 3 月	<p>【小型家電リサイクル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規解体現場品川リフラクトリーズ(株)の調査 ・パナソニックエコテクノロジーセンター(株)(加東市)の作業現場視察 <p>【特産品開発・普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田錦黒酢を使った商品開発の協議開始 <p>【イベント参加事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立武道館での「武道館フェスティバル」に参加

効果と成果

西播磨地域での障害者等の雇用は良いとはいえない状況にあり、新たな事業を展開し、障害者の雇用を増やすことは非常に厳しい。しかし、この度の助成で企業、学校など様々な分野の協力の下、1つ目は、県立武道館で地元特産品の販売事業を受託できたことで障害者の雇用に繋がった。2つ目は、パナソニックエコテクノロジーセンター（株）から家電製品の解体事業が受託でき、赤穂で障害者等を数名雇用できるに至った。

これからも地元商品を使い製菓専門学校の支援を受け、新たな商品開発を続けられることから、赤穂に潜在する能力ある人材を活かし、障害者の雇用にも繋がられる明かりが見えてきている。この支援を糧に、さらに事業の拡大を図り、少しでも多くの障害者等の雇用に貢献できるように努力してまいりたい所存です。

収支決算書

(収入)

項目	金額 (円)
フロンティア事業助成金	800,000
寄付金	610,000
事業収益金	318,195
合計	1,728,195

(支出)

区分	項目	金額 (円)	左のうち助成対象金額 (円)
直接 経 費	【小型家電リサイクル事業】		
	調査費	110,390	110,390
	会議費	232,750	232,750
	旅費交通費	24,740	24,740
	【特産品開発・普及事業】		
	人件費	180,300	180,300
	講師謝金	8,000	8,000
	旅費交通費	14,360	14,360
	備品費	1,328,178	0
	営業経費	89,320	89,320
	材料光熱水費	12,864	12,864
		小計	2,000,902
	間接経費（一般管理費）	264,493	139,303
	合計	2,265,395	812,027

